



(株)ハローワーク(岩手県)

カット野菜市場で羽ばたく プロフェッショナルを目指して



水沢第二工場外観

(株)ハローワークは、1989(平成元)年、岩手県大船渡市で産声を上げた。青果市場で取り扱う野菜の加工からスタートしたが、東日本大震災を転機に拠点を奥州市に集約化。業務用・市販用のカット加工、さらに低温物流センターをそろえ、東北エリアをカバーする。安全・安心で信用される商品作りを社員一丸で行う同社は、「野菜を扱うプロ」としての責任と矜持を何よりも大切にしている。

青果市場から野菜加工へ

錦山功代表取締役会長は、東日本大震災後、「カット野菜にはフォローの風が吹いている」と分析する。もともと、錦山会長は岩手県地方卸売市場

で青果を取り扱う大船渡青果(株)を先代から営んでおり、敷地内に別会社の(株)ハローワークを設立。市場の青果物を転送することで売上を伸ばしていたが、野菜は季節によって収穫量が上下するため、安定供給の面で確実ではない。そんな折、地元プロイ



錦山功
代表取締役会長



錦山恵美子
代表取締役社長



多彩なラインアップを手掛けるパックサラダ

ラー業者から、「キャベツを使った商品を作りたい」との相談を受け、岩手産ブランドの「いわて春みどり」を使ったロールキャベツ作りに協力。その後やきとりなど青果と関連した製品を作るようになり、弁当メーカーにニンジンやゴボウの乱切りなどを供給するようになった。

野菜のカット加工を行っていたメーカーは当時あまり多くなく、取引を徐々に拡大していく。「大船渡とは別の拠点を持つことは勇気が要った」と振り返るが、2002(平成14)年に現在の奥州市に水沢工場を建設し、東北地方をカバーする供給拠点を確立した。水沢は、「東北地方をたむとちょうど中心」に位置し、東部～西部まで約2時間、北部～南部まで約3時間の車両物流の中間地点にあたる。宮城県仙台市には外食向け物流センターも置き、大船渡と水沢合わせて取引をさらに拡大していった。



選別作業

東日本大震災で大きな転機

しかし、2011(平成23)年に転機が訪れる。3月11日の東日本大震災の発生だ。大船渡市の本社と工場施設は津波で流出。早期復旧を目指したが、復興計画の遅れや敷地かさ上げに莫大な費用がかかることから、水沢に拠点を集約化し、第2工場を新設した。

現在は第1工場で業務用カット野菜や惣菜キットを生産し、ローカルSMチェーン、病院、学校、産業給食などに供給する。第2工場は量販店向けパッケージサラダを約20種類、日産3万～4万5,000パック手掛ける。取り扱う野菜は葉物から根菜類まで幅広く、第1、第2工場合わせて20～25トンに上る。

仙台にあった物流センターは水沢の低温物流センターとして再編。東北エリアのレストラン、居酒屋、量販店向けの商品ピッキング機能を持つ。



カット野菜のプロの手で高品質商品が生産される

自社でカットした野菜と他社の調味料などを組み合わせキット化。10℃以下の低温を保持したコールドチェーンを確立させている。

「プロフェッショナル」の責任と矜持を胸に

開発を指揮する錦山恵美子代表取締役社長は、「開発能力の向上はもちろんだが、従業員のプロ意識をなおいっそう高めることが課題」と語る。相手先からカットについての細かい要望を実現することはもちろん、食を扱うプロとしての専門知識や能力をより高度化していくことが重要だ。錦山社長は従業員に対し、「自分が働く意味を考える」ことを徹底して欲しいと望む。入社し、仕事を任せられれば、お客さまにとって入社1年目も10年目も同じプロだ。錦山社長は野菜ソムリエの資格を持つが、食品製造に必要な知識を身につけ、自らも従業員と共に学び続けていくスタンスで日々の仕事に取り組んでいる。現在従業員は200人以上に増えてきたため、一人ひとりとじっくり話す機会を得ることは難しいが、各自の意識が良品を作ることに変わりはない。

「青果市場での仕事は、『モノの入荷がない』ことで許されることもあったが、任された仕事を必ず達成することが何よりも大切」と、錦山社長は強調

する。

震災により、調理の短縮化・簡便化ニーズがより強まり、カット野菜需要は年々高まりを見せている。錦山会長は、「ただ切ったものを売るだけではなく、安全で安心な商品を出していくことが使命」と決意を表す。

カット野菜市場が活性化することは、競争が激しくなり、さらには淘汰(とうた)が始まることでもある。そこで重要になるのが、「信用」の価値だ。

「プロとしての仕事をできるかどうかは、①産地から②取引先から③消費者から④社員から、この4つの信用が必要」(錦山会長)

社名の「ハローワーク(hello work)」には、「やあ!一緒に働こう!」という思いが込められている。大きな追い風の吹くカット野菜市場という海原に、同社は社員一丸となって大きな帆を張り、プロとしての仕事を実直に進めている。

(株)ハローワーク

代表者：代表取締役会長 錦山 功
代表取締役社長 錦山 恵美子
本 社：岩手県奥州市水沢区卸町3-13
(低温物流センター)
電 話：0197-47-4151
ホームページ：http://www.hello-work.co.jp/
事業内容：野菜・果物全般卸売、
加工野菜・加工フルーツ、
野菜・果物にかかる1次・2次加工品

協会は会員企業様の取り組みを応援しています!!

惣菜製造業をされている企業様で新しいお取り組みなど、「惣菜ホットニュース」でご紹介ませんか? ご紹介を希望されます企業の方は、協会までお問い合わせください。取材させて頂く場合には改めてご連絡をさせていただきます。

一般社団法人 日本惣菜協会 TEL 03-3263-0957